

エコ郡山は地域と連携し、EM活性液を供給。 環境浄化、そして放射能対策に活用しています。

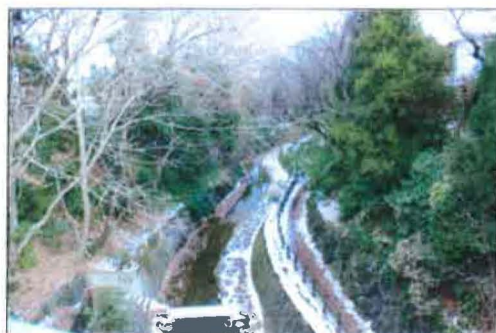
NPO法人EM・エコ郡山を約10年前に設立し、理事長として、メンバーをまとめる武藤信義さんは郡山市内の酪王乳業(株)に飛び込みで、EM活性液の培養を頼み込みました。

酪王乳業(株)には、百倍利器1台と2次培養用の1トンタンクを4基設置。酪王の発酵の専門家が培養を担当してくれ、2次培養の2トンをEM・エコ郡山は工場の脇を流れる阿武隈川へと流入する亀田川へ1トンタンクから直接投入します。以前は臭いなどの苦情が多かったようですが、今ではなくなりました。

また武藤さんらNPO法人EM・エコ郡山のメンバーはパワーゲート(2トントラック)で、浄化を推進している南川溪谷へも1トン投入します。南川溪谷は以前と比較できない程、ヘドロ臭がなくなり、セキレイも棲みつくなど、激変しました。冬場は活動は休止しており、6月から再開します。



酪王乳業(株)に設置してある百倍利器と武藤信義さん



阿武隈川へと流れる亀田川

4基の1トンタンクで2次培養

NPO法人EM・エコ郡山が浄化活動をしている南川溪谷。遊歩道も整備されているが、大変汚れていた。今は臭いもないので、流域住民が喜んでいきます。



NPO法人EM・エコ郡山のメンバー
左から、田中良雄さん、武藤信義さん、
七海喜一郎さん、網代住子さん